

特集：教員養成のカリキュラム研究

教員養成カリキュラムの改革を展望する

The Perspective of Curriculum Development for Teacher Education

本特集は、教員養成に対して求められているカリキュラム改革の方向を展望しようとするものである。数年前の「教員養成の在り方に関する懇親会報告」以来、教員養成の制度とともに、内容・方法の改革が強く要請されている。むろん、これまでもカリキュラム改革はそれぞれ全国の教員養成大学・学部、及び公立・私学関係者から数多く提言されてきた。しかし、現在求められているのは、カリキュラム改革の方向を具体的に定め、それを実施に移す努力である。それは、単に内容・方法の改革にとどまらず、それを実現するための制度の改革、さらには、教育に対して幾重にも押し寄せるポリイテックスを見据えて、一体どのような教員が今求められているのかの理念の探求までを含む仕事である。

香川大学教育学部教育実践総合センターでは、平成13年度・14年度の2年間、学長裁量経費による研究「これからの時代に対応する教員養成カリキュラムの開発研究」を進め、それを成果として報告した。また、全国的には日本教育大学協会の「教員養成モデル・コアカリキュラム」の提起など、具体的な改革案も示されてきた。

本特集は、これらの動向を踏まえて、これからの教員養成カリキュラム改革の方向をより鮮明にすることを目的に編集した。平成15年度開催した教育実践研究総合センター研究会の報告・討論を基礎に編集したものである。